

トヨタ自動車特集



プリウス は発売直後から納車遅れとなるほどの人気



クルマ離れの現状打破

本格的なスポーツ量販車を復活させる一方で、「GRMN」「GSスポーツ」(通称ジース)の2

ブランドを相次ぎ誕生させた。継続的にわくわくドキドキするクルマを出せ、トヨタブランドのイメージは環境や耐久性に比べ、運転する楽しさが相対的に低いと思われている」(内山田竹志副社長)という現状を打破するための新たな挑戦だ。

GRMN

ドイツのニルブルクリンク24時間耐久レースなどに挑戦するトヨタのモータースポーツ活動組織「ガズレーシング」がつくる走りの味。これを量販車にふんだんに注ぎ込んだのがGRMN。10月に発売したウィッツのGSスポーツ

ジース

一方のジースは幅広い顧客に楽しんでもらえるよう価格を抑えた。架装工程の一部をトヨタ本体

魅力ある車で市場活性化

トヨタ自動車は中期経営指針「グローバルビジョン」で「顧客に笑顔になっていただける企業」を長期指針として掲げた。この思いを実現するために必要なのが、豊田章男社長が常々口にする「もっといいクルマづくり」だ。根っからの「カーガイ」である豊田社長が先頭に立ち、自動車開発の現場では日夜「いいクルマづくり」に情熱を傾けている。

いいクルマづくりに情熱

今年で2年目を迎えた社内表彰制度「トヨタアワード」。その年のイヤーカーを決める「カー・オブ・ザ・イヤー」(COY)の社内版ともいえる豊田社長肝いりの表彰だ。

プリウス

今年には社長賞にあたる「モリゾウ賞」に3代目「プリウス」が選ばれた。「リーマン・ショックや品質問題といったトヨタ最大の危機のなか、トヨタを支えてくれた存在」と選定の理由を挙げた。

プリウスの10年の国内販売は約30万5000台。小型車「カローラ」が1990年に達成した記録を20年ぶりに塗り替えた。

え、エンジンとモーターを併用するハイブリッド車(HV)が大衆車として普及する先鞭となった。画期的な何となく、JCO8モードでも、32.6km/Lとクラス最高レベルの燃費水準と、最低価格205万円のコストパフォーマンスを実現した点だ。部品メーカーと一体となった実行した血のにじむような原価低減努力が結実した。燃料代や価格に敏感な消費者の心をつちりとつみ、10年の国内新車登録の10台の1台がプリウスとなった。

プリウスという大看板を生かし、11年からはプリウスの多様化という新弾が5月に発売したワゴンタイプ。プリウスで140km/hという世界最高の燃費水準となる見込みのプリウスは、若者向けだ。12年初にはプリウスベータで家庭用電源で充電できるプラグインHV(プリウス)を発売する。リース車両は約500万円だったが、市販車は米

レクサスLFA

一方、運転する楽しさを実現できる「走りの味」にこだわったスポーツ車



もいクルマづくりに欠かさない。自らテストドライバーとしてハンドルを握り、テスト走行やレース参戦を経験してきた豊田社長にとっても「車の味づくり」は最も思い入れのあるファクターだ。

若者のクルマ離れなどで国内新車市場が低迷する中、クルマファンを増やすためにも走る楽しさを感じられるクルマが欠かせない。トヨタが最先端技術の粋を集めて開発したスポーツカー「レクサスLFA」

FT-86

トヨタは11年末にもクルマファン待望の小型スポーツカー「FT-86」を発売する見込みだ。エンジンには富士重工業と共同開発した排気量2000ccの水平対向4気筒エンジンを採用。トヨタの後輪駆動(FR)技術と組み合わせ、環境性能と高出力を両立する。

FT-86は今も根強い人気を誇るハチロク(「AEカローラレビン」「スリムタートル」)の愛称の名を冠した小型FRスポーツ車。比較的低価格で運転を楽しむクルマに仕上げ

上海モーターショーで公開されたFT-86はコンセプトは、3750万円という高価な価格設定にも関わらず、09年10月末の予約受け付けからわずか3カ月弱で500件の応募があった。

責任を与え、予算内で自由にスポーツ車開発の企画や意思決定できる体制とした。これによって走りの味のこだわったスポーツ車を継続的に投入できるようにした。

すべては、かけがえのない時間のために。

大切な人と絆を深める。家族と思い出を重ねていく。
そんなクルマの中で過ごす色とりどりの時間を、
人生にとってかけがえのない一刻にしたい。
トヨタ紡織はその想いをエネルギーに、
快適な移動空間の創造に取り組んでいます。



トヨタ紡織株式会社 愛知県刈谷市豊田町1丁目1番地 www.toyota-boshoku.com

世界の道で、乗る人の「うれしさ」を
学び続ける。

そのクルマは、ヨーロッパの石畳を走るかもしれない。
そのクルマは、灼熱の砂漠を走るかもしれない。
そのクルマは、極寒の凍結路を走るかもしれない。
アイシン精機、特殊試験路。ここには世界のあらゆる道がある。
どんな環境でも満足してもらえる一台のために、このテストコースで
コンピュータで究めた製品を、さらに、乗る人の気持ちになって鍛えあげていく。
すべては、クルマの部品やシステムの開発段階から、
乗る人の「うれしさ」を学び、求められているものをカタチにするために。



アイシン精機株式会社 〒448-8650 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地 www.aisin.co.jp